

ON



Q1 所属部署の主な業務内容

資産税課は、帯広市に所在している土地、家屋、償却資産に係る固定資産税の賦課業務を行う部署です。私は土地係に所属しており、現在は、道路に付設されている路線価を設定する業務を担当しています。基幹税目である固定資産税を評価する立場として、日々、やりがいと責任を感じながら業務に取り組んでいます。

Q2 一番印象に残っている出来事

固定資産税課税事務の短期派遣研修に参加したことです。全国の市町村で同じ業務に従事している職員が集まる研修で、業務内容や土地の評価方法について意見交換を行いました。普段関わることのない方々と交流ができ、今後の業務の参考となる話を聞いて、とても貴重な経験ができました。

Q3 帯広市で働くことの魅力

色々な角度から自分の好きなまちの行政に携わることができる点です。今は、現在の部署での経験しかありませんが、他の部署はどのような形で帯広市と関わっていくことができるのか楽しみです。また、福利厚生が充実しており、有給休暇が取得しやすいので、自分の日々の生活も大切にしながら働くことができる点も魅力だと思います。

キタニ 資産税課 木谷 係員 (2022年入庁)

1999年生まれ、帯広市出身。
週末に美味しいものを探して、食べに出掛けるのが一週間の楽しみ。

2022年～ 現所属

穏やかに 健やかに！

Q1 帯広市の暮らしやすさ・魅力

帯広市は道路が広く道が分かりやすいので、どこへでも出掛けやすいです。中心部に行くと、魅力的な飲食店が立ち並び、街から外れると公園も多く自然を身近に感じることができます。食べ物が美味しくて、空気もおいしいため、暮らしやすさが抜群だと思っています。

Q2 おすすめエリア・お店

街の中心部にある「テング道場」がおすすめです。特に、キャベツが多めの餃子やミノボンが私の好みで、いつも頼んでいます。

また、北の屋台にある「さん太」や緑ヶ丘公園の近くにある「あぶり屋勉三」の料理も大好きでよく行きます。夜ご飯のお店に迷うことがあれば、ぜひ、選択肢に入れて欲しいです！

Q3 休日の過ごし方・趣味

好きなバンドのライブを見に行ったり、道外へ旅行したり、札幌へショッピングしに出掛けたり、定期的にワクワクする予定をつくるようにしています。

日常的には、お笑いが好きなので、芸人さんのラジオを聴きながら散歩したり、M-1の時期は予選を見漁って休日を過ごしています。



OFF



ON



Q1 所属部署の主な業務内容

建築物を建てる前には確認申請という手続きで建築基準法に適合しているのかを確認しますが、その審査と完成した後の検査の業務が主です。そのほかにも既存の建築物が建築基準法に違反している場合、ちゃんとしてね、と言いに行く違反指導の業務も行っています。責任の重い仕事ですが、新しい建物の図面や実物を見たりするのは楽しさもあります。

Q2 一番印象に残っている出来事

大きい物件の審査や検査を行う時は印象に残りますね。大きいホテルや学校、保育園などの審査を担当しましたが、どれも審査の難易度は高く大変でした。月並みですが達成感もありました。また、経験を積むことで知識も増え、自信にもつながりました。

Q3 帯広市で働くことの魅力

私の場合、2度の転職を経て帯広市にたどり着きましたが、働きやすさはダントツ1位でしたね。ハラスメントなども見かけませんし、今は残業もほぼありません。帯広市は人員不足の解消や働き方の改善にも意欲的だと思います。ベストなのはわかりませんがベターではあるんじゃないでしょうか。仕事はもちろん大事ですが、私生活の重要さは職場も理解してくれています。子ども関係や趣味などでも有給は気軽に取得しています。

アモウ

建築開発課 天羽 主任補 (2021年入庁)

1989年生まれ、深川市出身。
一級建築士、(通称)主事試験合格
前職では道内他自治体で従事。

2021年～ 現所属

自分の人生も謳歌する

Q1 帯広市の暮らしやすさ・魅力

私はずっと身長を超える雪が積もる地域に住んでいたこともあり、帯広の雪の少なさが一番好きです。また飲むのが好きなので食べ物おいしい帯広市はとても魅力的です。自分としては縁もあまりない土地ですが、永住するつもりです。

Q2 おすすめエリア・お店

前述しましたがお酒が好きなので街中エリアがおすすめです。北の屋台や長屋など、魅力的なお店がたくさんあります。チェーンの居酒屋で一人で飲むのが昔からの趣味なのでお手頃なチェーン店が多いのも助かります。

Q3 休日の過ごし方・趣味

休日は子どもたちと一緒に出かけることが多いです。色々なところに連れまわしています。趣味は数多ありますが一番時間を割いているのはブレイクダンスとお酒、DIYでしょうか。

ダンスは高校時代からやっており、子どもが寝た後に自宅車庫で細々やっています。加齢と共に体重の増加が止められなくなり(酒が原因)、全然動けなくなってきましたが楽しく踊っています。趣味に時間を割くことができるのも今の仕事の強みだと思います。

OFF



ON



カワモト
生活支援第1課 川元 主任補
(2024年入庁)

1988年生まれ、帯広市出身。
前職では市内の病院で医療ソーシャルワーカーとして従事。

2024年～ 現所属

Q1 所属部署の主な業務内容

生活支援課は、生活保護・生活困窮に関することが主な業務です。様々な理由で生活に困窮している方が安心して生活できるよう支援し、自立を促す役割を担っており、制度を利用する方と深くかかわる部署です。

私は主に、生活困窮に関する業務を担当しています。

Q2 一番印象に残っている出来事

入職してまだ日が浅いのですが、1つにしぼれないほど衝撃的な出来事の連続です。毎日色々な相談が寄せられ、様々な方の人生に触れることで、自分がこれまで想像もつかなかった新しい価値観や考え方等、気付かされることがたくさんありました。

Q3 帯広市で働くことの魅力

帯広市の福祉職は様々な分野の福祉制度に携わるため、相談援助職に必要な幅広い知識を習得できることが大きな魅力です。また、直接の個別支援だけでなく、間接的に市民の方々の暮らしの基盤を支えるお仕事ができることも、民間の現場とはまた違ったやりがいがあると感じています。

毎日ご機嫌で過ごさ

Q1 帯広市の暮らしやすさ・魅力

帯広市は四季がはっきりしており、季節ごとの景色の変化やその時期特有のアクティビティを楽しむことができるのが魅力だと思います。学校では冬の体育の授業がスケート！学校の校庭がスケートリンクに早変わりします。

Q2 おすすめエリア・お店

帯広競馬場がおすすめです。迫力あるレースは競馬初心者の私でも楽しむことができました。年に何度も楽しいイベントが開催され、休日は地元の新鮮な野菜を買いがてら大きなばん馬と触れ合うことができる老若男女が集うスポットです。

Q3 休日の過ごし方・趣味

休日は2人の子供と遊んで過ごすことがほとんどです。数年前までは旅行が大好きでよく出かけていましたが最近はずっかり出不精になってしまったので、今年こそは遠方への旅行を計画したいと思います！

OFF



ON



シマムラ

商業労働課 島村 主任 (2024年入庁)

1980年生まれ、東京都出身。
前職では、東京都庁で従事。

2024年～ 現所属

Q1 所属部署の主な業務内容

経済部で労働関係の仕事に携わっています。地元企業のため地域住民の皆様のために広範囲な仕事を担当していますが、「移住」関係の仕事が中心です。自分が移住者だった経験や前職のスキルを活かし、自分にしかない強みを出しながら、これまで市が取り組んできた意思を受け継いで、更に前に進めるよう、毎日楽しく働いています。

Q2 一番印象に残っている出来事

「人事課」です。職員が思っていることや感じていることをダイレクトにアンケートして、その結果を踏まえてチームを作って、本気で業務改善を進めようとしていることに驚きました（私もお声がけいただきました。）。

帯広市は、はっきり言って古い体制もまだ残っていますが、オープンで議論ができる組織は、今後、必ず発展していくと思っていますので、これからにとっても期待しています。

Q3 帯広市で働くことの魅力

帯広市はほどよくコンパクトな組織なので、前職と比べて私たち職員一人一人の意識や行動が、市政そのものの方向性に強く影響を及ぼすと感じます。のんびり自分のペースで働けることも魅力の一つです。なにより自分たちが選んだ“十勝”という最高のフィールドで、ワークライフバランスをとりながら働けること、それが一番の魅力だと思っています。

職員一人一人が『歯車』となって
組織がぐるぐる回っている意識が大事

Q1 帯広市の暮らしやすさ・魅力

帯広・十勝は「都心の人間が思い描く北海道」を地で行く地域だと思っています。札幌圏、旭川付近（東川・美瑛）、そして十勝を夢見る移住希望者が多いのも納得です。

生活に求めるものは人それぞれだと思いますが、アウトドア大好きな我が家族からすると、広くて青い空、美しい山並み、牧場、畑、星空・・・妻の実家がある富良野も大好きですが、活気と自然にあふれる理想的な地方都市だと思います。

Q2 おすすめエリア・お店

おすすめエリアは「日帰りドライブスポット」です。東京と違って車で1時間ぐらいで無数の絶景がまっています。「ナイタイ高原牧場」、「ハルニレの木」、「狩勝峠」。ちょっとがんばって「えりも岬」、「三國峠」とか。帯広民は屈斜路湖・札幌ぐらいは日帰り（！）らしいです。

食事は「自宅BBQ」がおすすめです。敷地広い、食材安い、種類多い、おいしい等々、温かいシーズンの週末は庭でBBQをしています。そんな目線で家を探すのもよいと思います。

Q3 休日の過ごし方・趣味

休日は、子供とサッカーをしたりドライブしたり、アウトドアを毎週楽しんでます。未だに行きたくても行ききれない場所、教えてもらっているお店がいくつもあります。

今の趣味は家族で遊ぶことと旅行です。都会住まいと子育てで疎遠になっている山歩きとテント泊・釣りなど、もう少ししたら家族と一緒に再開したいと思っています。

OFF



ON



スナオカ

人事課 砂岡 主任補 (2013年入庁)

1989年生まれ、中札内村出身。
前職は、群馬県内の養鶏場に勤務。
2013年～ 納税課（当時）
2019年～ 農政課
2023年～ 現所属

Q1 所属部署の主な業務内容

効果的、効率的な行財政運営を図り、持続可能なまちづくりのために行財政改革計画を策定しており、その計画の進捗管理などを行っています。また、任期付職員（任期が定まった職員）の採用の担当などもしています。

Q2 育児休業取得時の雰囲気や、周りの反応

人事課は3月から4月が1年の中で忙しいのですが、その時期にも関わらず、「子育て楽しんでね」と送り出していただきました。

Q3 育児休業を取得してよかったこと

積極的に育児に参加できたことで得がたい経験になりました。また、妻と育児を共有することで家庭の温かみが増した気がします。大人もみんな、昔はかわいい😊であったことを想像すると苦手な人にも優しくなれる気がします。

Q4 帯広市で働くことの魅力

相談がしやすい環境であると思います。仕事をしていくうえで、業務の判断に悩むことがあります。その際に、同僚や上司に気軽に相談できる環境が整っているなど感じています。

自分のためにも、人のために頑張る

Q1 帯広市の暮らしやすさ・魅力

晴れの日が多い、食べ物がおいしい、公園が充実しているなど、家庭がある方は特に過ごしやすいところです。また、帯広市は北海道の中でも降雪は多くなく、雪かきの頻度は少なく済むと思います。雪かきが嫌いな私にとっては有難いことです。

Q2 おすすめエリア・お店

気軽に動物と触れ合えるばんえい競馬、帯広動物園がおすすめです。両施設ともに、市街地近郊にあり気軽に寄ることができます。また、ばんえい競馬は競馬を楽しむのはもちろん、馬と間近で触れ合えるのも大きな魅力で、私も家族で散歩がてらいくことが多いです。

Q3 休日の過ごし方・趣味

平日、休日問わず早起きな私は朝5時、6時くらいから温泉施設に行くことが多いです。十勝は温泉施設も多く、温泉好きにはたまりません。朝は一人で過ごし、その後は家族で過ごします。一日がとても充実します。ぜひ帯広で朝活をしてみたいでしょうか。

OFF



ON



コメドオリ
生涯学習文化課 米通 課長補佐
(2003年入庁)

1979年生まれ、美唄市出身。

2003年～ 介護保険課（当時）

2007年～ 情報システム課（当時）

2013年～ 図書館 2015年～ 秘書課

2017年～ 職員課（当時）

2022年～ 企画課 2024年～ 現所属

Q1 所属部署の主な業務内容

市民の皆さんにより豊かな生活を送っていただくため、生涯学習活動の推進や文化・芸術振興事業の推進を担っています。こうしたソフト事業のほか、各団体の活動拠点となる帯広駅前にある「とがちプラザ」や「帯広市民文化ホール」の管理業務を行っています。

Q2 管理職としての工夫

いわゆる事業課であり、個々の職員が担当事業を持ち業務を進めています。問題を抱えていても見え難いため、ズボラな性格ですが、マメに声をかけるようにして相談しやすい雰囲気を作るようにしています。

Q3 マネジメントの面白いところ、難しいところ

異なる業務を俯瞰して見て、複数の担当職員を巻き込んで、一緒に課題解決や新しい仕事づくりに取り組める部分が面白さかなと思います。自分がプレーヤーではないので、どこまで手を出すか力加減が難しいところですね。

Q4 帯広市で働くことの魅力

都市の大きさに応じた仕事があるのと思いやりがある職員が多いと思います。休暇や育児休業、テレワーク、時差勤務等の制度を利用しやすい雰囲気があり、ワークライフバランスを実現しやすいと思います。

何か変えよう、何かやろう

Q1 帯広市の暮らしやすさ・魅力

それなりの規模がある学校や病院が近くにあるほか、公園が多くあるなど自然も身近に感じられる“ちょうどいい都市”というところです。帯広市に住み始めた際、日常的にエゾリスに出会える環境には感動しました。会えると癒されます。

Q2 おすすめエリア・休日の過ごし方

おすすめは、遠くは日高山脈、そして帯広の森・十勝川・札内川に囲まれている帯広市のロケーションです。都市部から少し移動すると、その圧倒的な自然に触れられるところが魅力ですね。

休日には、日高山脈を眺めながらランニング、自転車に乗り帯広の森や十勝川をなぞるように走ってリフレッシュしています。時間がある時には、十勝管内の町村も走ります。

また、十勝川・札内川河川敷には競技それぞれのグラウンドが整備されていて、学生時代から継続しているラグビーをチームメイトや子どもと練習して汗を流しますね。

最後は、温泉に入って整えます。温泉は都市部に銭湯感覚で何件もあって、値段は驚愕の500円未満です。

OFF

